

## 鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップ開催報告

エリア：居住性向上エリアA  
テーマ：魅力ある淀川河川敷

開催日時：令和5年11月17日（金）  
午後6時30分～午後8時30分  
開催場所：新鳥飼公民館  
参加者数：9名

魅力ある淀川河川敷をテーマとした第2回ワークショップでは「スポーツ」・「ライフスタイル」・「教育その他」について検討しました。第1回出席者の方で都合が合わず欠席となった方も多く、参加者数は9名でしたが、新規で来ていただいた方も2名いらっしゃいました。今回も、既存のものをどう活用するのか？、何が足りていないのか？、こんな機能は必要ではないか？、こんなやり方は出来ないのか？など、活発な議論が行われました。



ワークショップの様子1



ワークショップの様子2



ワークショップの様子3

## 参加者の感想（一部抜粋）



淀川河川敷は鳥飼まちづくりの取組スタートに丁度良いテーマだと思います。



摂津市を少しでもより良いまちに出来たら良いなと思いました。

また参加させていただきます。



どうすればドッグランを実現できるか、法律や規制を教えてください。



河川公園で「できること・できないこと」について、河川法、都市公園法での制限、規制を学び共有した方が良い。



もっといろいろな人来てもらいたいと思いました。

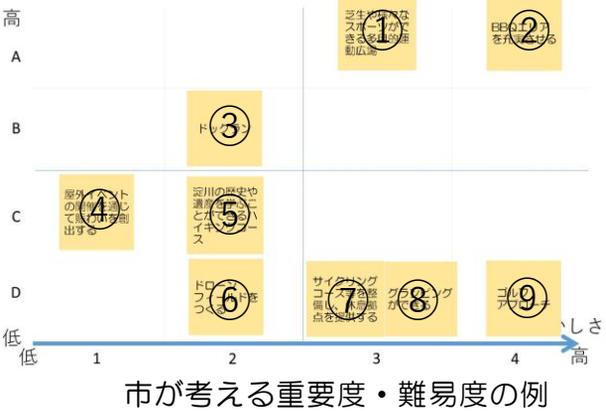
## 【今後の鳥飼まちづくりグランドデザイン関係の予定】

- ・R6（2024）年1月18日：人ともものが集まる賑わい（核）エリア説明会
- ・R6（2024）年2月頃：ワークショップ（居住性向上エリアA）[予定]

# 今回の内容

今回は、まず淀川河川公園に既にある施設等を市から紹介しました。そのうえで、第1回ワークショップからの続きで、「スポーツ」、「ライフスタイル」、「教育その他」に関する意見を対象に、「住民の居心地の良い環境づくり」の観点から重要度・難易度について、市の考えを基にワークショップ参加者ととも整理しました。

居住性向上エリアA 課題解決に向けた取組の方向性（市）（スポーツ・ライフスタイル・教育その他）  
 (8) 淀川河川敷の地域のにぎわい創出や多様なライフスタイルを支える「場」としての活用を推進します  
 重要性

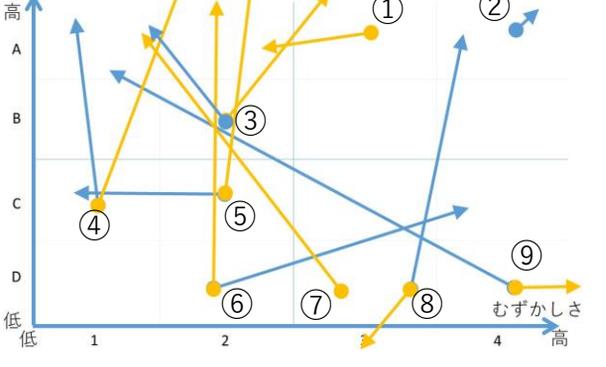


- ① 芝生や様々なスポーツができる多目的運動広場
- ② BBQエリアを充実させる
- ③ ドッグラン
- ④ 屋外イベントの開催を通じて賑わいを創出
- ⑤ 淀川の歴史や遺産を学ぶことができるハイキングコース
- ⑥ ドローンフィールドをつくる
- ⑦ サイクリングコース等を整備し、休憩拠点を提供する
- ⑧ グランピングができる
- ⑨ ゴルフアプローチ

居住者にとって居心地の良い環境  
（ライフスタイル）を軸に検討

## 各グループの意見（一部抜粋・集約）

居住性向上エリアA 課題解決に向けた取組の方向性（各グループの検討結果）  
 (8) 淀川河川敷の地域のにぎわい創出や多様なライフスタイルを支える「場」としての活用を推進します  
 重要性



- ワークショップ参加者のご意見（抜粋）
- ・ 新たに何かを作るのではなく、既にあるものを活用すべきと考える。
  - ・ 既存施設は、存在が知られていなかったり、借り方がわからないものが多いので、広報手段の工夫が必要。
  - ・ BBQエリアには移動可能な水道設備（洗い場）を設置出来ないか。
  - ・ ドッグランは有料化して、中・大型犬も遊べるよう柵などを整備出来ないか。
  - ・ 施設利用を有料化し、ゴミ回収費用に充てたらどうか。

※図中の●→は、元の市の考えた位置●からどう動いたかを示しています

## 各グループの検討結果を踏まえて

今回のワークショップで、参加者の共通した意見は「新たに何かを作るのではなく、既存のものを活用すべき」でした。一方で、市の財産である様々な施設等が知られておらず、使い方も知らないという状況が明らかになったため、市としては、改めて広報・周知を徹底することとしました。

今後のワークショップは、今回いただいた意見を含め、重要度の高い淀川河川敷の活用に向けた取組をいくつか選定し、優先順位を検討します。その後、優先順位の高いものについて具体的な内容を検討するとともに、実施する際の役割分担（市、住民、地域活動団体、事業所等）の考え方についても整理していきます。

